

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・故障の原因になります。

■器具のお手入れ ▲危険 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。

- 高圧パルスが発生していますので、死亡・墜落(電撃)・感電の原因になります。
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご相談ください。

ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご相談になれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。

製品・お取り扱いなどの ご相談は

「お客様相談室」

ナビダイヤル(全国共通番号)

電話 0570-055123

受付時間：9:00～17:30

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX 072-986-5036

修理・アフターサービスの お問い合わせは

「サービスセンター」

ナビダイヤル(全国共通番号)

電話 0570-015123

FAX 0570-025123

受付時間：9:00～17:30

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

●ナビダイヤルにかからない場合は、「お客様相談室」☎072-986-5081にお願いします。

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などに変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2008年10月現在)

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



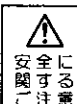
ご使用の際
このような
ことはありませんか

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いが出る。
- コードに傷や痛みが見られる。
- グローブ、セードなどにひびが見られる。

▶

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、
電源スイッチを切り、
必ず販売店に点検、修理を
依頼してください。



- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証とアフターサービスについて

保証について

- ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器は3年間です。
- ・ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型 番 AUE950498・AUE950499

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

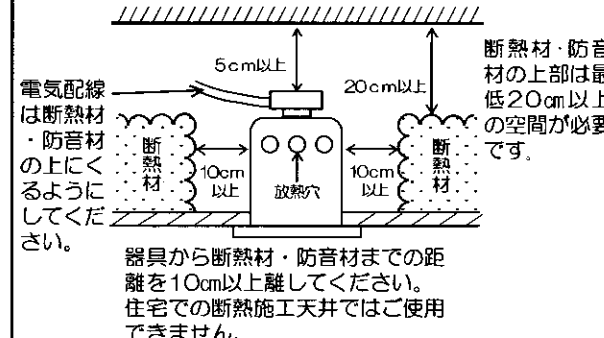
工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
⚠ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	⚡ 分解禁止 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	⚡ 禁止 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。 器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。 →被照射物の焼損による火災の原因になります。
	⚠ 厳守 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。 器具に適合するランプおよび安定器を組み合わせ、適正な電源電圧でご使用ください。 →器具に不適合なランプ・安定器・電源電圧でのご使用は不点灯または事故の原因になります。
⚡ 禁止	アース工事 アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合は感電の原因になります。
	この器具は天井埋込専用器具です。 傾斜天井・壁などには取付けできません。 →器具の落下によるけがの原因になります。



⚠ 注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

⚡ 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	⚡ 禁止 ライトコントロールなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
	⚡ 禁止 ガス機器など温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。 また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。	

コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪府中央区備後町3-3-7

再生紙を使用しています。

取説No. D01-310 KU/S・T-003

別紙参照

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

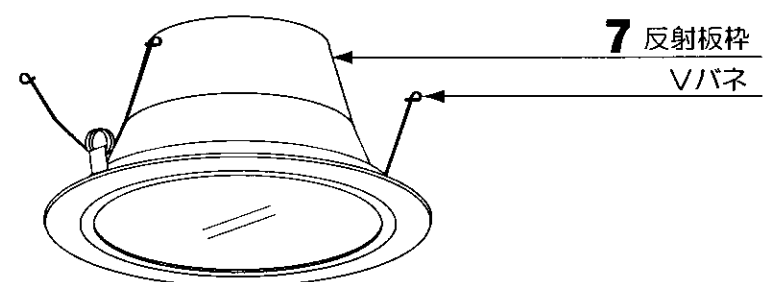
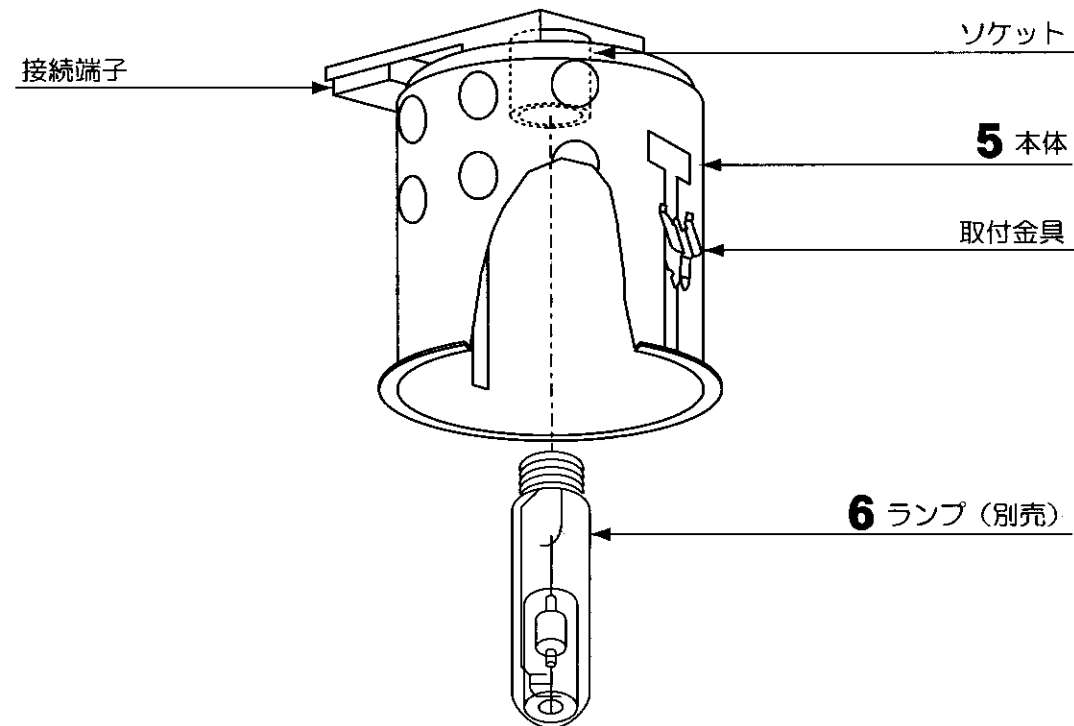
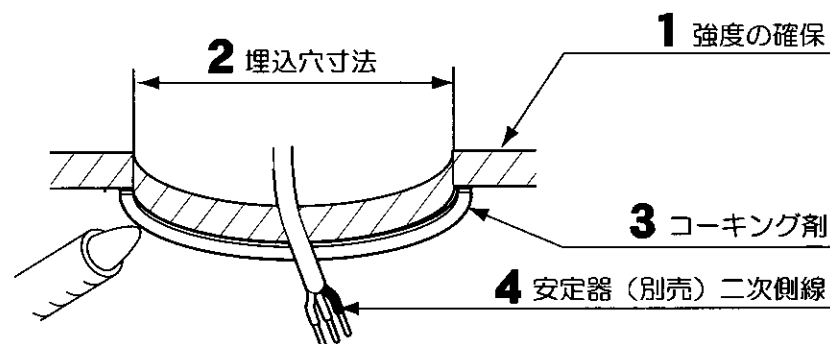
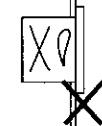
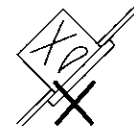
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けしないでください。

このような場所には取付けしないでください。



傾斜天井

壁面



1 施工前の確認

器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する。

2 天井に埋込穴をあける

3 取付面が凹凸のある天井の場合

取付面と本体の間にすきまが発生している場合は、コーキング剤で天井面を平面とする。

△注意 タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。

本体パッキンと取付面とのすきまを防水シールなどで埋めてください。

→火災・感電の原因になります。

4 電源線を接続する

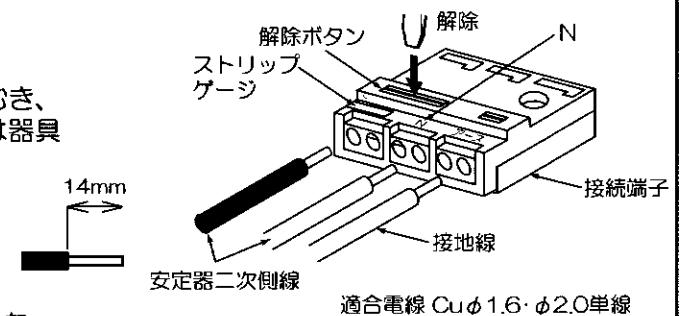
ストリップゲージに合わせて、安定器二次側線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。このとき、安定器二次側線は器具から離して施工する。

はずす時は解除ボタンを押し、安定器二次側線を抜く。

※ D種（第三種）接地工事を行なう。

△電源の接続は確実に行ってください。

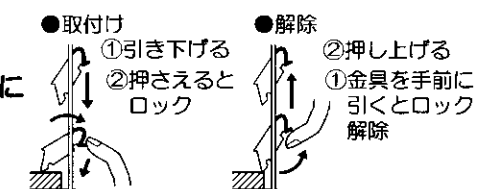
接続が不完全な場合や安定器二次側線が器具に接触した場合は、火災・感電の原因になります。



5 本体を取付ける

本体を天井穴へ押し上げ、天井に確実に取付ける。

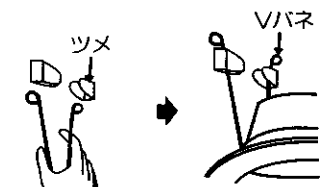
△警告 取付け後、安定器二次側線が器具に触れないようにしてください。火災・感電の原因になります。



6 ランプ(別売)を取付ける

7 反射板枠を取付ける

Vバネを指先で締めながら本体のツメに引っ掛けて反射板枠を水平に押し上げる。



8 点灯の確認を行なう

△危険 点灯後は高圧パルスが発生します。触らないでください。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■ランプ交換について △危険 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。

高圧パルスが発生しますので死亡・墜落(電撃)・感電の原因となります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。

間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行ってください。

1 電源を切る

2 反射板枠を取外す

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。落下によるけがの原因になります。

5 反射板枠を取付ける

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

